

いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」

に基づく東北6県の比較分析

(平成22～24年度)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

平成26年3月

岩手県 商工労働観光部 観光課

「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく東北6県の比較分析（平成22～24年度）

＜目的＞

- ・ 「観光入込客統計に関する共通基準」は、平成21年12月に観光庁が策定したものである。従来各都道府県によって、定義がまちまちであった観光入込客数や観光消費額を、訪問目的別（観光/ビジネス）や発地別（県内/県外/外国人）に、地域間で比較することが可能な形で把握するための共通基準を策定し、各地域間で観光に関する現状や動向を横並び比較することが可能となったものである。（平成22年度から各都道府県が順次導入。）
- ・ 岩手県内における四半期及び年度による比較を実施してきたが、昨年度に引き続き東北6県で比較分析を実施した。他県での観光客の延べ人数、実人数及び観光消費額等を比較することで、東北における岩手県の観光特性を把握することができ、他県との観光特性の違いを明らかにすることができる。

＜対象＞

1) 対象エリア

- ・ 岩手県を含む東北6県

2) 対象データ

- ・ 平成22年4-6月期調査～平成25年1-3月期調査（12四半期分データ）

各県の公表状況は下表のとおりである。これらのデータを年度で整理し、平成22年度は秋田県を除いた5県での比較（秋田県のみ平成23年1-3月調査から導入）、平成23年度および平成24年度は6県で比較した。用いたデータは、日本人・観光目的の観光入込客数（実数）、観光消費額単価及び観光消費額である。なお、平成22年度は年間値（平成22年度）を、平成23年度及び平成24年度は各四半期の合算値で整理した値を用いた。

東北6県の公表状況

県／期	平成22年度				平成23年度				平成24年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
岩手県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
青森県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
宮城県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
秋田県	—	—	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●
山形県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
福島県	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

＜平成26年2月末現在＞

凡例 ●：公表済 —：調査対象外（未導入）

3) 分析項目

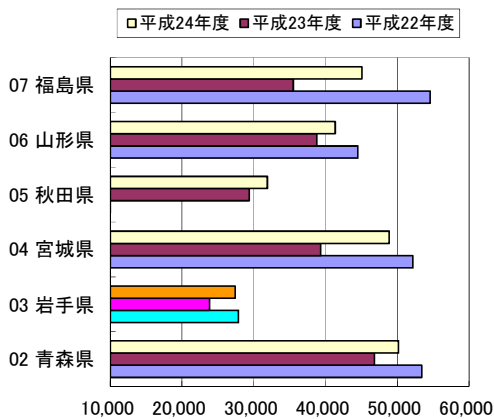
- ① 観光入込客数と観光消費額の比較
- ② 観光形態別の観光入込客数と観光消費額の比較
- ③ 観光消費額単価の比較
- ④ 東北6県平均値と岩手県の比率の比較

3) 分析項目

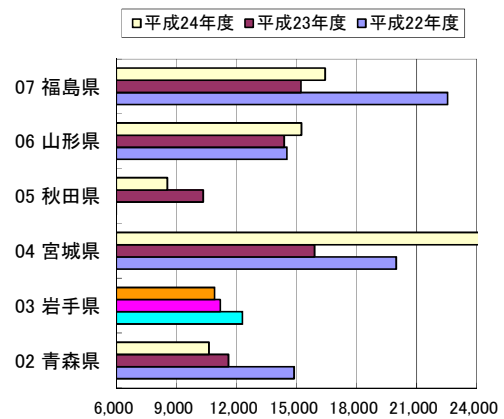
① 観光入込客数と観光消費額の比較

- 平成 22 年度（震災前）、平成 23 年度（震災後）、平成 24 年度（震災後 2 年目）において、東北各県の延べ観光入込客数、実観光入込客数、観光消費額及び観光消費額単価を分析した。
- 平成 23 年度と平成 24 年度を比較することで、震災の影響からの回復度合いの違いを把握することが可能となる。また、平成 22 年度と平成 24 年度を比較することで、震災前の水準にどの程度近付けたかを把握することが可能となる。
- 各項目での平成 22 年度、平成 23 年度、平成 24 年度を比較した図（4 項目）と、平成 22 年度及び平成 23 年度の値を基準とした、平成 24 年度の比率を項目別に示した図・表を次頁に示す。

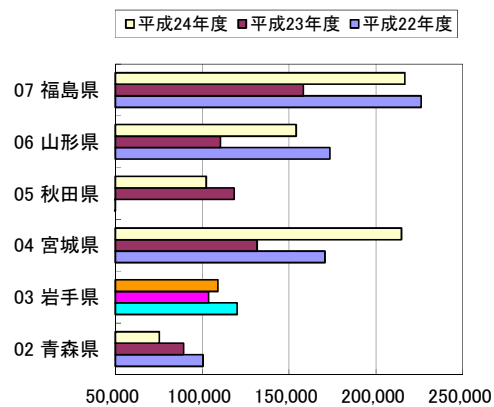
- 平成 24 年度における岩手県の延べ観光入込客数は東北 6 県で最も少なく、実観光入込客数では秋田県、青森県に次いで少ない。また、観光消費額の総額は青森県、秋田県に次いで低く、観光消費額単価は青森県、宮城県に次いで低い。【図 1、図 2、図 3、図 4】
- 平成 24 年度における岩手県の延べ観光入込客数は震災前と同程度に回復しているが、実観光入込客数は震災前の 89%程度にとどまっている。また、観光消費額単価は震災前を上回っているが、観光消費額は震災前の 91%程度にとどまっている。【図 1、図 2、図 3、図 4】
- 延べ観光入込客数は平成 23 年度と比べ全ての県で増加している。一方、実観光入込客数は北東北 3 県（青森・岩手・秋田）で平成 23 年度を下回っているものの、岩手県は、観光消費額単価の増加により、観光消費額が平成 23 年度を上回っている。【図 5】
- 県内宿泊客は平成 23 年度より減少（0.75）している一方、県内宿泊客の観光消費額単価は大きく増加（1.47）している。これは、いわてデスティネーションキャンペーン（平成 24 年 4～6 月）の効果等があったものと考えられる。【表 1〈比率〉】



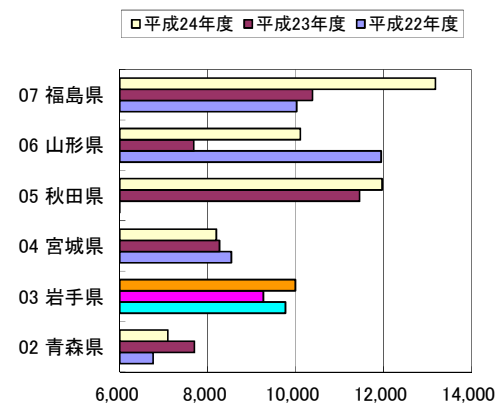
【図 1】 延べ観光入込客数(千人回)



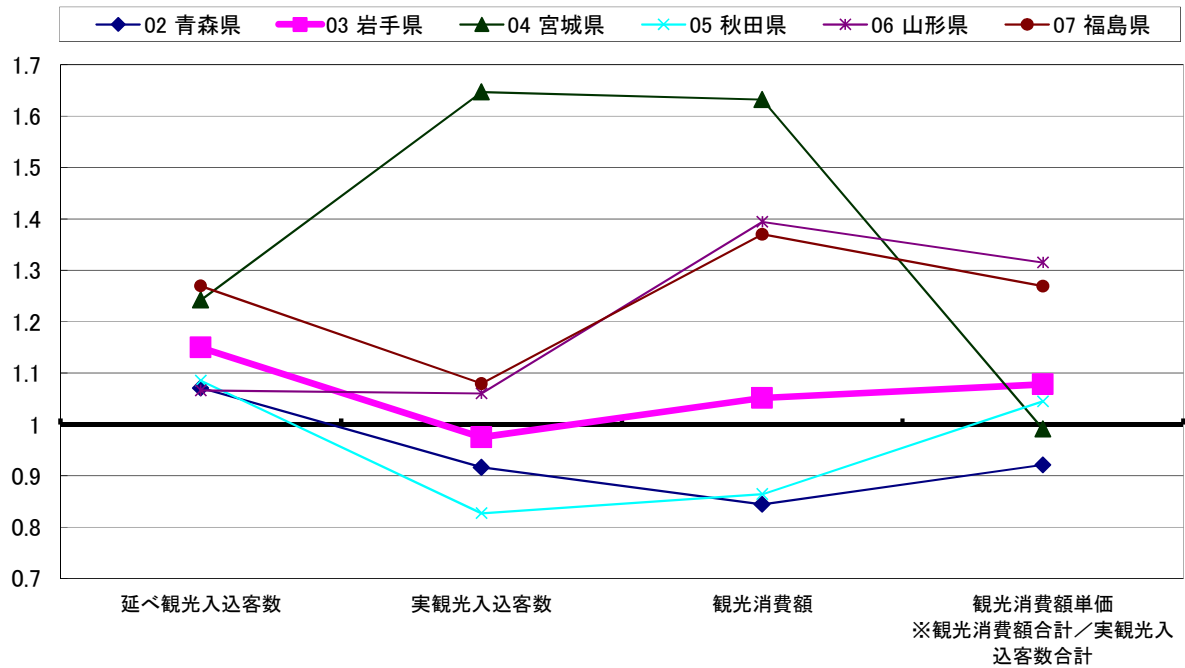
【図 2】 実観光入込客数(千人・回)



【図 3】 観光消費額(百万円)



【図 4】 観光消費額単価(円)
※観光消費額合計/実観光入込客数合計



【図5】平成24年度における各値の比率（平成23年度の値を1とした場合）

<H22>													
都道府県	延べ観光入込客数(千人回)	①実観光入込客数(千人・回)				②観光消費額単価(円/人・回)				③観光消費額(百万円)			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
02 青森県	53,393	461	10,333	1,160	2,921	16,874	3,519	28,432	8,011	7,779	36,366	32,981	23,400
03 岩手県	27,870	1,269	6,210	1,622	3,193	17,131	3,703	28,119	9,321	21,747	22,998	45,611	29,768
04 宮城県	52,160	1,688	10,810	2,924	4,554	14,938	3,492	24,088	8,171	25,216	37,749	70,434	37,209
05 秋田県	0	78	784	90	823	19,782	3,083	25,433	6,571	1,543	2,417	2,289	5,408
06 山形県	44,495	1,354	5,118	1,771	6,281	19,382	7,313	27,050	9,860	26,243	37,428	47,905	61,931
07 福島県	54,570	1,567	9,588	3,271	8,117	20,380	4,251	27,463	7,817	31,936	40,754	89,830	63,447
<H23>													
都道府県	延べ観光入込客数(千人回)	①実観光入込客数(千人・回)				②観光消費額単価(円/人・回)				③観光消費額(百万円)			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
02 青森県	46,820	421	7,375	1,167	2,635	16,926	3,296	33,563	7,091	7,126	24,306	39,168	18,684
03 岩手県	23,849	1,495	4,774	1,749	3,173	10,033	3,870	27,671	6,889	15,002	18,474	48,401	21,860
04 宮城県	39,331	1,617	9,185	2,108	2,997	17,570	3,734	23,243	6,621	28,411	34,294	48,996	19,842
05 秋田県	29,386	458	3,927	860	5,086	25,926	5,406	32,290	11,304	11,874	21,230	27,769	57,490
06 山形県	38,774	1,080	5,283	1,597	6,419	17,976	3,590	20,406	6,162	19,414	18,966	32,589	39,555
07 福島県	35,512	1,530	8,560	1,783	3,352	23,258	4,561	30,276	8,806	35,584	39,043	53,982	29,519
<H24>													
都道府県	延べ観光入込客数(千人回)	①実観光入込客数(千人・回)				②観光消費額単価(円/人・回)				③観光消費額(百万円)			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
02 青森県	50,142	558	6,417	1,173	2,481	13,317	3,313	27,472	5,829	7,431	21,259	32,225	14,462
03 岩手県	27,417	1,128	4,701	1,885	3,198	14,755	3,294	27,589	7,787	16,831	15,526	51,654	25,072
04 宮城県	48,853	1,640	17,217	2,236	5,105	22,037	3,982	25,751	10,266	36,141	68,558	57,580	52,406
05 秋田県	31,889	469	3,542	857	3,676	24,808	6,019	41,701	9,136	11,635	21,319	35,738	33,585
06 山形県	41,332	1,319	5,576	1,575	6,776	20,723	5,849	25,325	8,008	27,334	32,612	39,887	54,263
07 福島県	45,082	1,656	8,340	2,666	3,770	16,470	6,888	28,899	14,546	27,274	57,448	77,046	54,840
<比率(H24/H22)>													
都道府県	延べ観光入込客数(千人回)	①実観光入込客数(千人・回)				②観光消費額単価(円/人・回)				③観光消費額(百万円)			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
02 青森県	0.94	1.21	0.62	1.01	0.85	0.79	0.94	0.97	0.73	0.96	0.58	0.98	0.62
03 岩手県	0.98	0.89	0.76	1.16	1.00	0.86	0.89	0.98	0.84	0.77	0.68	1.13	0.84
04 宮城県	0.94	0.97	1.59	0.76	1.12	1.48	1.14	1.07	1.26	1.43	1.82	0.82	1.41
05 秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06 山形県	0.93	0.97	1.09	0.89	1.08	1.07	0.80	0.94	0.81	1.04	0.87	0.83	0.88
07 福島県	0.83	1.06	0.87	0.82	0.46	0.81	1.62	1.05	1.86	0.85	1.41	0.86	0.86
<比率(H24/H23)>													
都道府県	延べ観光入込客数(千人回)	①実観光入込客数(千人・回)				②観光消費額単価(円/人・回)				③観光消費額(百万円)			
		県内		県外		県内		県外		県内		県外	
		宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
02 青森県	1.07	1.33	0.87	1.01	0.94	0.79	1.01	0.82	0.82	1.04	0.87	0.82	0.77
03 岩手県	1.15	0.75	0.98	1.08	1.01	1.47	0.85	1.00	1.13	1.12	0.84	1.07	1.15
04 宮城県	1.24	1.01	1.87	1.06	1.70	1.25	1.07	1.11	1.55	1.27	2.00	1.18	2.64
05 秋田県	1.09	1.02	0.90	1.00	0.72	0.96	1.11	1.29	0.81	0.98	1.00	1.29	0.58
06 山形県	1.07	1.22	1.06	0.99	1.06	1.15	1.63	1.24	1.30	1.41	1.72	1.22	1.37
07 福島県	1.27	1.08	0.97	1.50	1.12	0.71	1.51	0.95	1.65	0.77	1.47	1.43	1.86

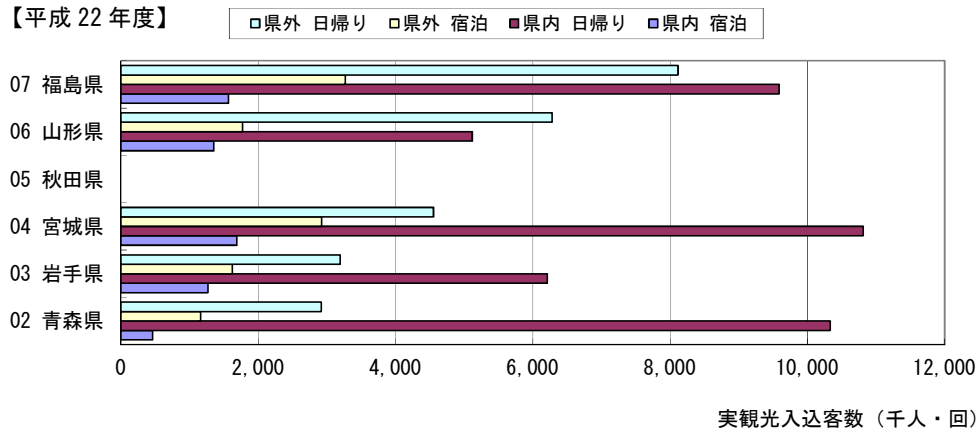
【表1】平成22年度・平成23年度・平成24年度の観光入込客数、観光消費額単価及び観光消費額

② 観光形態別の観光入込客数と観光消費額の比較

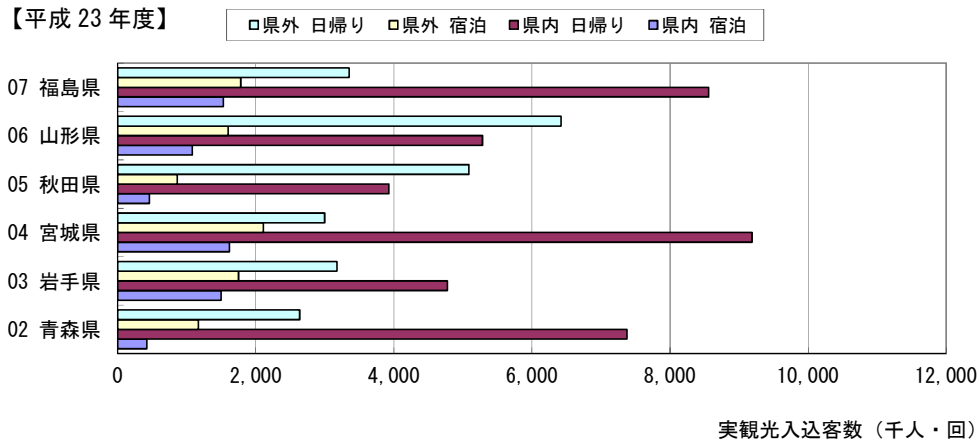
平成 22 年度（震災前）、平成 23 年度（震災後）、平成 24 年度（震災後 2 年目）において、観光形態別の実観光入込客数、観光消費額単価及び観光消費額を比較分析した。

- 実観光入込客数に着目すると、震災前後を通じて、青森県、岩手県、宮城県及び福島県（県内日帰り > 県外日帰り）と、秋田県及び山形県（県外日帰り > 県内日帰り）に大きく分類することができる。また、宿泊客については、総じて県外宿泊客が県内宿泊客を上回るが、平成 23 年度の福島県については県外宿泊客が大幅に減少している。
- 県内宿泊客は、平成 23 年度においては、岩手県、宮城県及び福島県が同規模であったが、平成 24 年度においては岩手県のみが減少し震災前よりも下回っている。今後、全体の実観光入込客数、観光消費額を増加させるためには、県内日帰り客を宿泊に向かわせる等、県内客に対する県内観光の機運を高める施策も必要と考えられる。

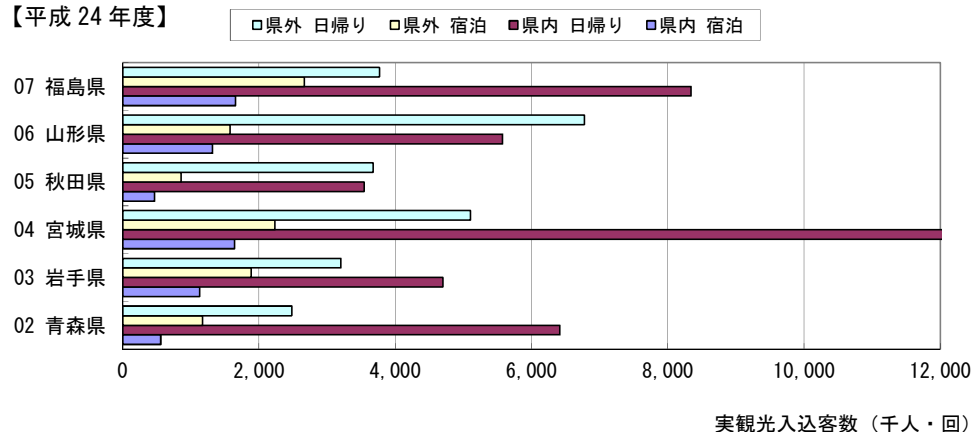
【平成 22 年度】



【平成 23 年度】

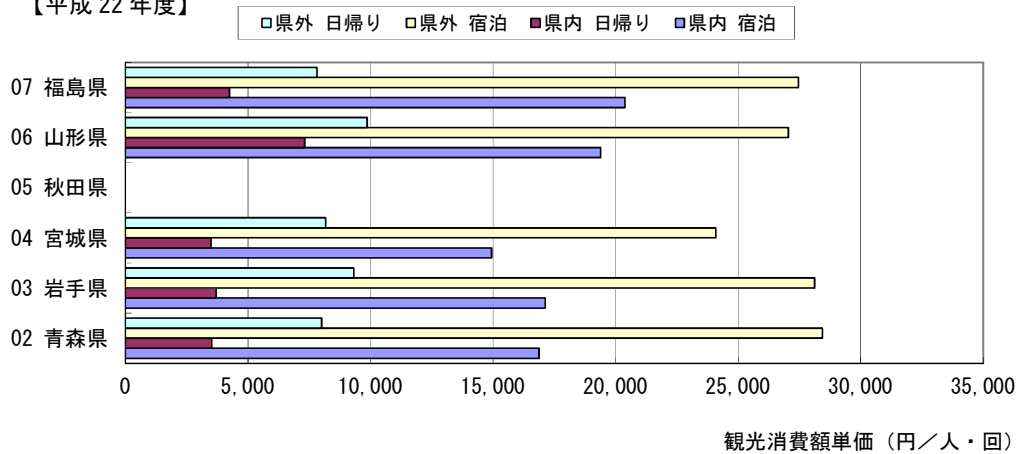


【平成 24 年度】

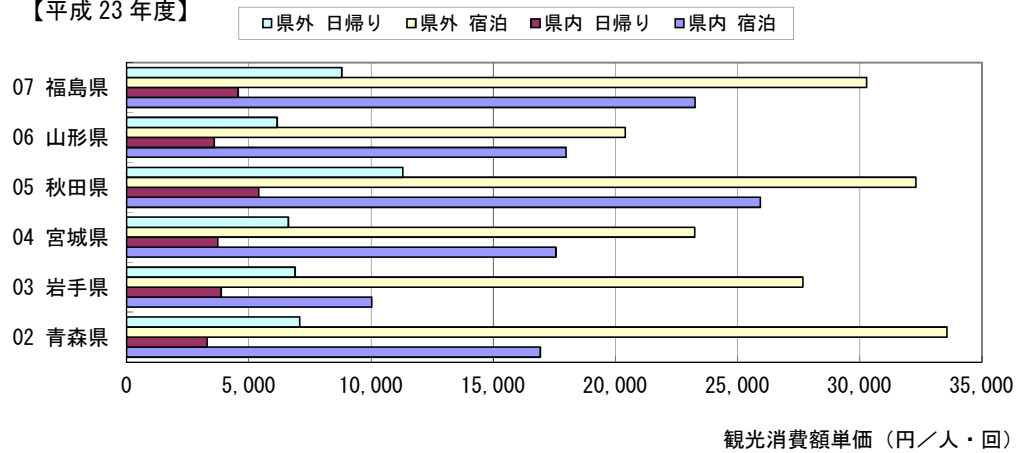


各県の実観光入込客数

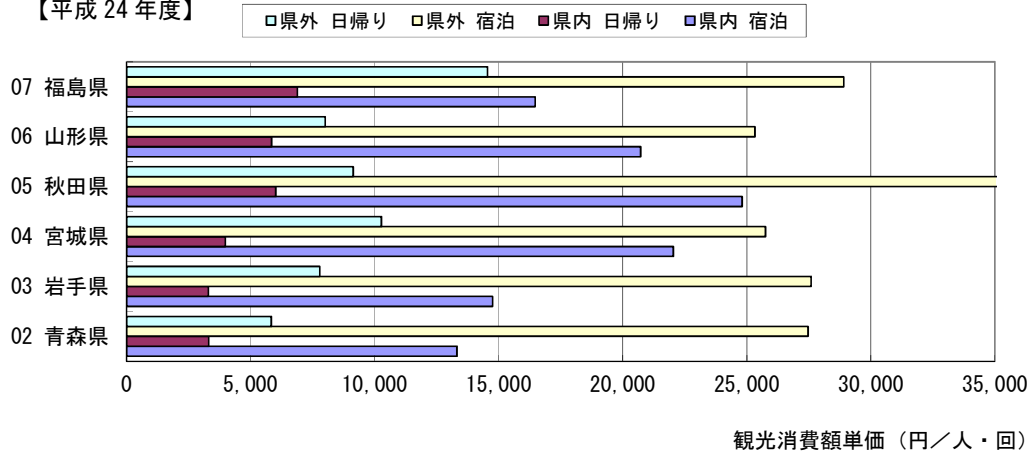
【平成 22 年度】



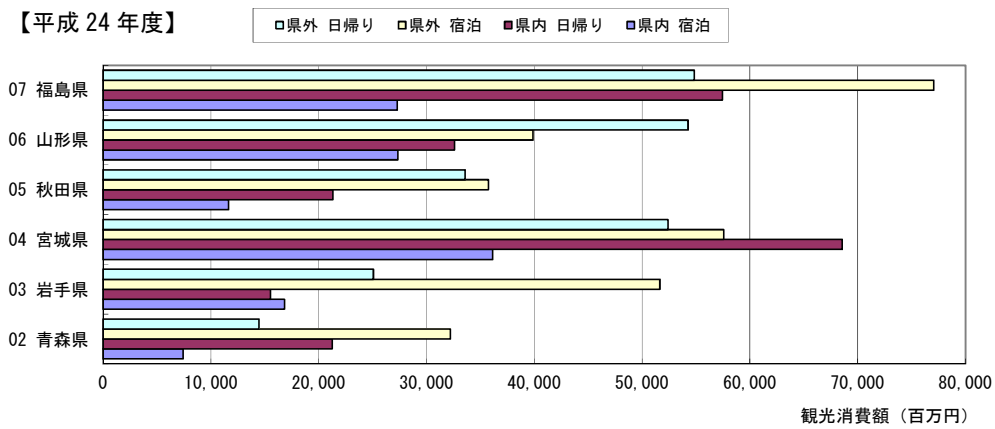
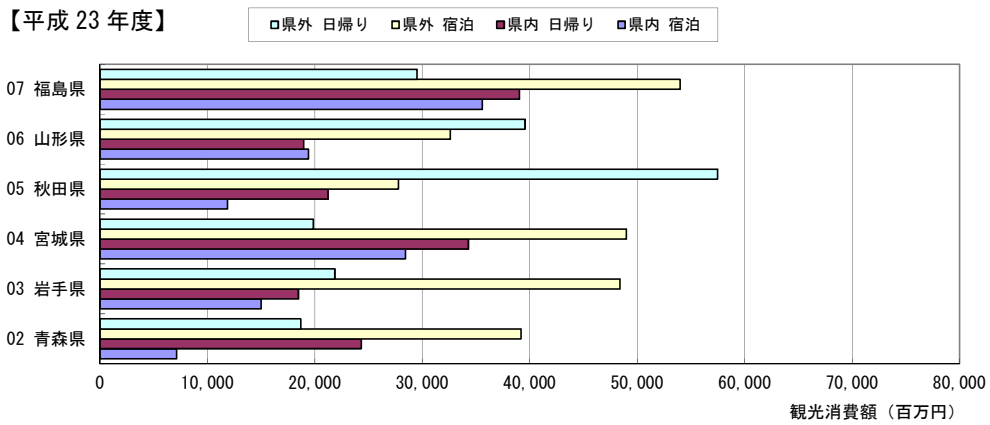
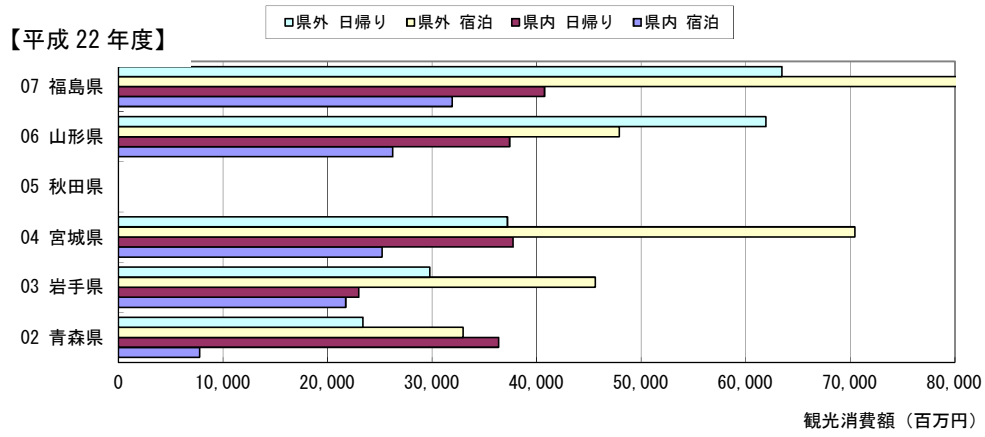
【平成 23 年度】



【平成 24 年度】



各県の観光消費額単価



各県の観光消費額

③ 観光消費額単価の比較

- 東北6県の観光消費額単価の割合を整理し、分析した。

- 県外客／県内客の宿泊客観光消費額単価の割合 (a/b) を見ると、岩手県は青森県に次いで高いが、県内の宿泊単価が増加したことで平成23年度より減少している。一方、県内客の宿泊客／日帰り客の観光消費額単価の割合 (b/d) を見ると、平成23年度において大きく落ち込んだものが、平成24年度においては震災前の水準に回復している。このことから県内客・県外客ともに宿泊客を誘致した方が単価当たりの経済効果が大きいことが分かる。
- また、震災により県外客／県内客の日帰り客観光消費額単価の割合 (c/d) が大幅に減少したものの、平成24年度には震災前の水準程度に回復しているが、県内日帰り客の単価が減少している。そのため、県外日帰り客のさらなる入込増を図る施策や県内日帰り客の観光消費額単価を上昇させることも必要と考えられる。

平成22・23・24年度の東北6県における観光消費額単価

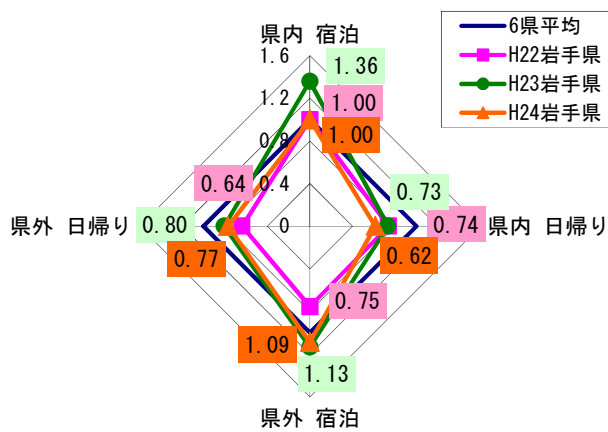
H22	県内		県外		比率			
	宿泊 b	日帰り d	宿泊 a	日帰り c	a/b	c/d	a/c	b/d
02 青森県	16,874	3,519	28,432	8,011	1.685	2.276	3.549	4.795
03 岩手県	17,131	3,703	28,119	9,321	1.641	2.517	3.017	4.626
04 宮城県	14,938	3,492	24,088	8,171	1.613	2.340	2.948	4.278
05 秋田県	19,782	3,083	25,433	6,571	1.286	2.131	3.870	6.417
06 山形県	19,382	7,313	27,050	9,860	1.396	1.348	2.743	2.650
07 福島県	20,380	4,251	27,463	7,817	1.348	1.839	3.513	4.795
H23	県内		県外		比率			
	宿泊 b	日帰り d	宿泊 a	日帰り c	a/b	c/d	a/c	b/d
02 青森県	16,926	3,296	33,563	7,091	1.983	2.151	4.733	5.136
03 岩手県	10,033	3,870	27,671	6,889	2.758	1.780	4.016	2.593
04 宮城県	17,570	3,734	23,243	6,621	1.323	1.773	3.511	4.706
05 秋田県	25,926	5,406	32,290	11,304	1.245	2.091	2.857	4.796
06 山形県	17,976	3,590	20,406	6,162	1.135	1.716	3.312	5.007
07 福島県	23,258	4,561	30,276	8,806	1.302	1.931	3.438	5.099
H24	県内		県外		比率			
	宿泊 b	日帰り d	宿泊 a	日帰り c	a/b	c/d	a/c	b/d
02 青森県	13,317	3,313	27,472	5,829	2.063	1.760	4.713	4.020
03 岩手県	14,755	3,294	27,589	7,787	1.870	2.364	3.543	4.479
04 宮城県	22,037	3,982	25,751	10,266	1.169	2.578	2.509	5.534
05 秋田県	24,808	6,019	41,701	9,136	1.681	1.518	4.564	4.122
06 山形県	20,723	5,849	25,325	8,008	1.222	1.369	3.162	3.543
07 福島県	16,470	6,888	28,899	14,546	1.755	2.112	1.987	2.391

比率	内容	解説	岩手県 H23	増減	岩手県 H24
a/b	宿泊客のうち、県外客がもたらす観光消費額単価の比率	高ければ高いほど、 宿泊客 は 県外 から誘致した方が、単位当たりの経済効果が大きい。	2.758 (1位)	↓	1.870 (2位)
c/d	日帰り客のうち、県外客がもたらす観光消費額単価の比率	高ければ高いほど、 日帰り客 は 県外 から誘致した方が、単位当たりの経済効果が大きい。	1.780 (4位)	↑	2.364 (2位)
a/c	県外客のうち、宿泊客がもたらす観光消費額単価の比率	高ければ高いほど、 県外客 は 宿泊客 として誘致した方が、単位当たりの経済効果が大きい。	4.016 (2位)	↓	3.543 (3位)
b/d	県内客のうち、宿泊客がもたらす観光消費額単価の比率	高ければ高いほど、 県内客 は 宿泊客 として誘致した方が、単位当たりの経済効果が大きい。	2.593 (6位)	↑	4.479 (2位)

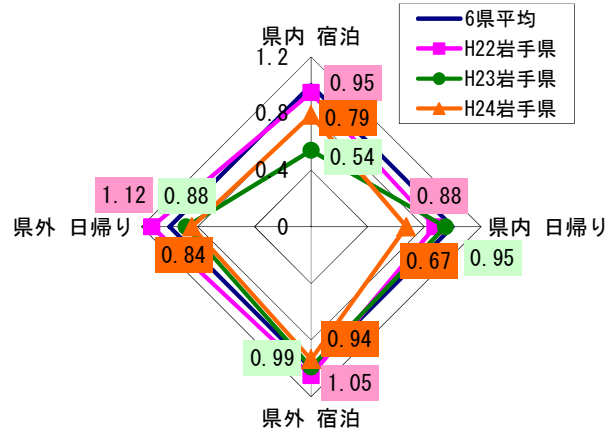
④ 東北6県平均値と岩手県の比率の比較

- 項目別の東北6県の平均値を1とした岩手県の比率をレーダーチャートで表示した。
(平成22年度：秋田県は観光消費額単価のみ対象)
- 実観光入込客数では、県内宿泊客（H23）、県外宿泊客（H23・H24）が東北6県の平均値を上回っているものの、その他の項目では平均値を下回っている。また、平成23年度と平成24年度を比較すると、全ての項目で平成23年度の値の方が高い。
- 観光消費額単価では、県外宿泊客（H22）、県外日帰り客（H22）が東北6県の平均値を上回っているものの、その他の項目では下回っている。また、平成23年度と平成24年度を比較すると、県内宿泊客を除く全ての項目で平成23年度の値の方が高い。
- 観光消費額では、平成24年度は県外宿泊客を除く全ての項目で東北6県の平均値を下回っており、特に県内日帰り客は平均の4割程度となっている。

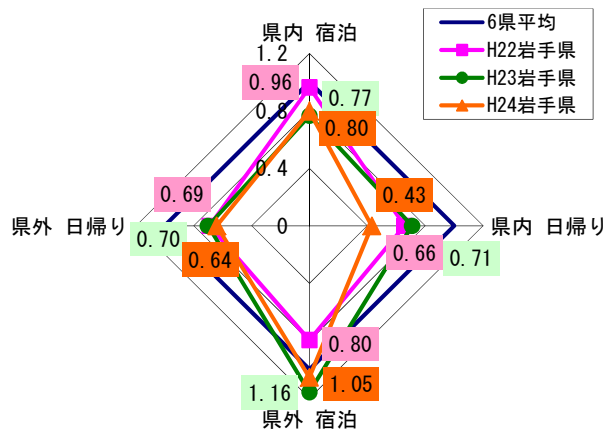
都道府県	①実観光入込客数（千人・回）				②観光消費額単価（円/人・回）				③観光消費額（百万円）			
	県内		県外		県内		県外		県内		県外	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
H22岩手県	1,269	6,210	1,622	3,193	17,131	3,703	28,119	9,321	21,747	22,998	45,611	29,768
H22平均との比率	1.00	0.74	0.75	0.64	0.95	0.88	1.05	1.12	0.96	0.66	0.80	0.69
H23岩手県	1,495	4,774	1,749	3,173	10,033	3,870	27,671	6,889	15,002	18,474	48,401	21,860
H23平均との比率	1.36	0.73	1.13	0.80	0.54	0.95	0.99	0.88	0.77	0.71	1.16	0.70
H24岩手県	1,128	4,701	1,885	3,198	14,755	3,294	27,589	7,787	16,831	15,526	51,654	25,072
H24平均との比率	1.00	0.62	1.09	0.77	0.79	0.67	0.94	0.84	0.80	0.43	1.05	0.64



実観光入込客数の比率（岩手県）



観光消費額単価の比率（岩手県）



観光消費額の比率（岩手県）

【まとめ】 ①～④の分析の結果、県内客に対する県内観光の機運を高め、県内日帰り客の実観光入込客数の改善のほか、県内日帰り客・県内宿泊客の観光消費額単価（観光消費額の内訳：交通費、宿泊費、土産代、飲食費、入場料等）の改善、単価当たりの経済効果が大きい県外客の観光消費額の維持・増加を図ることが必要と考えられる。